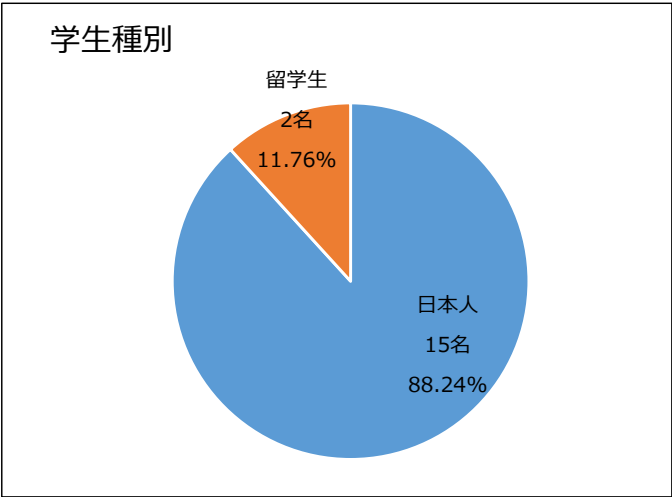


令和5年度 教育改善に関するアンケート〈専門職学位課程〉

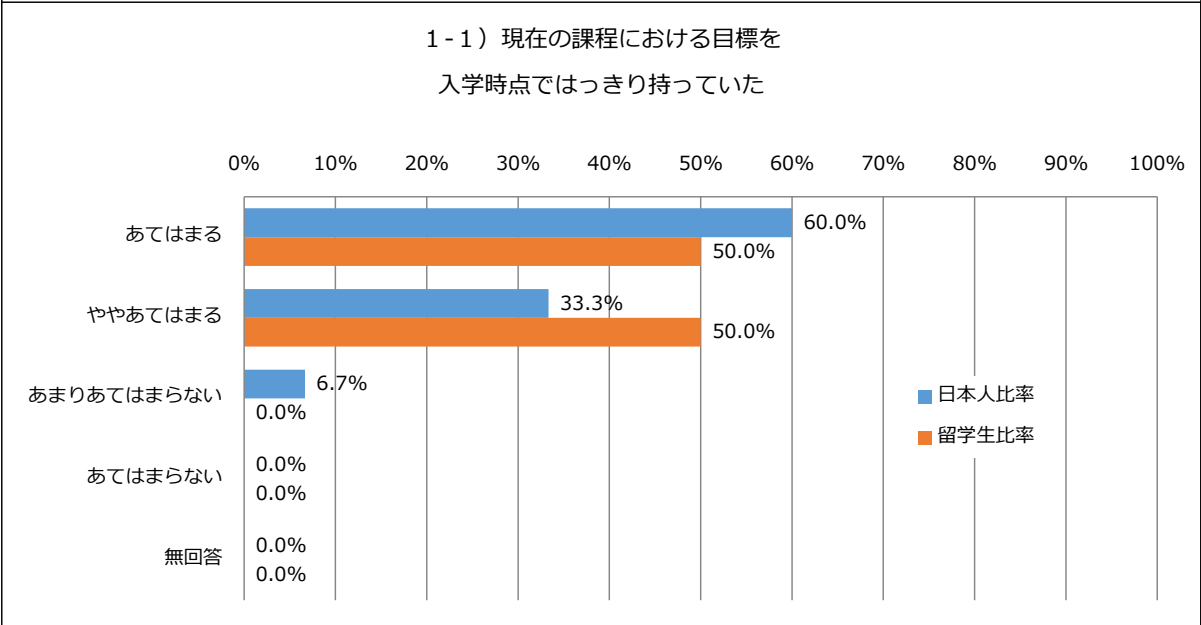
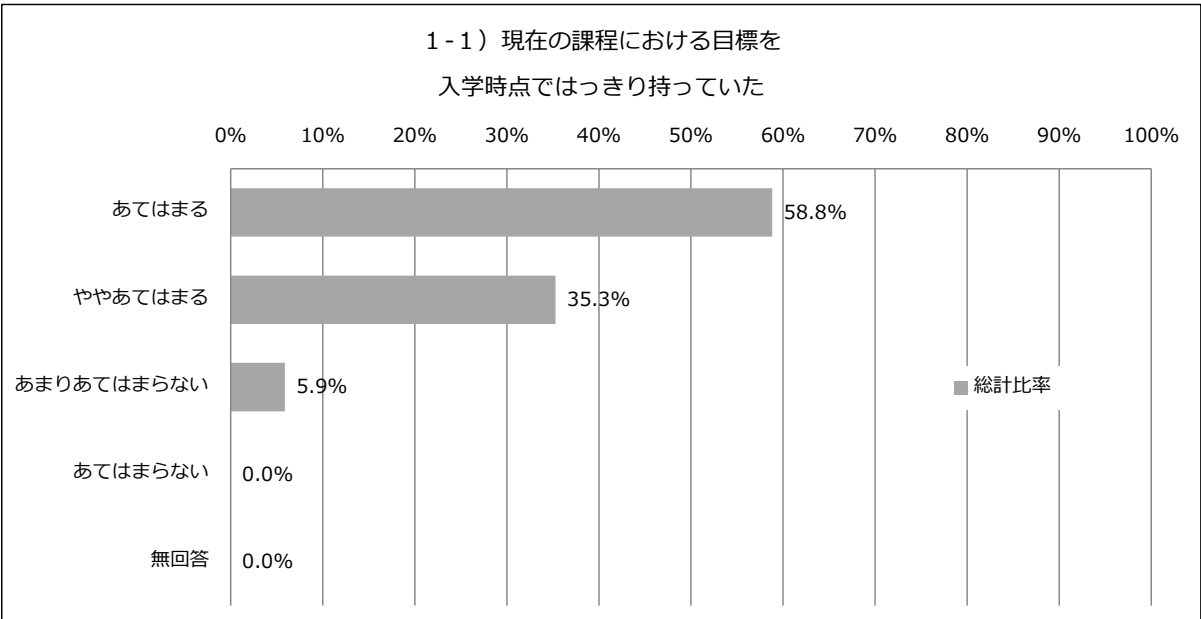
基本統計量



学生種別	人数	割合
日本人	15	88.24%
留学生	2	11.76%
総計	17	100.00%

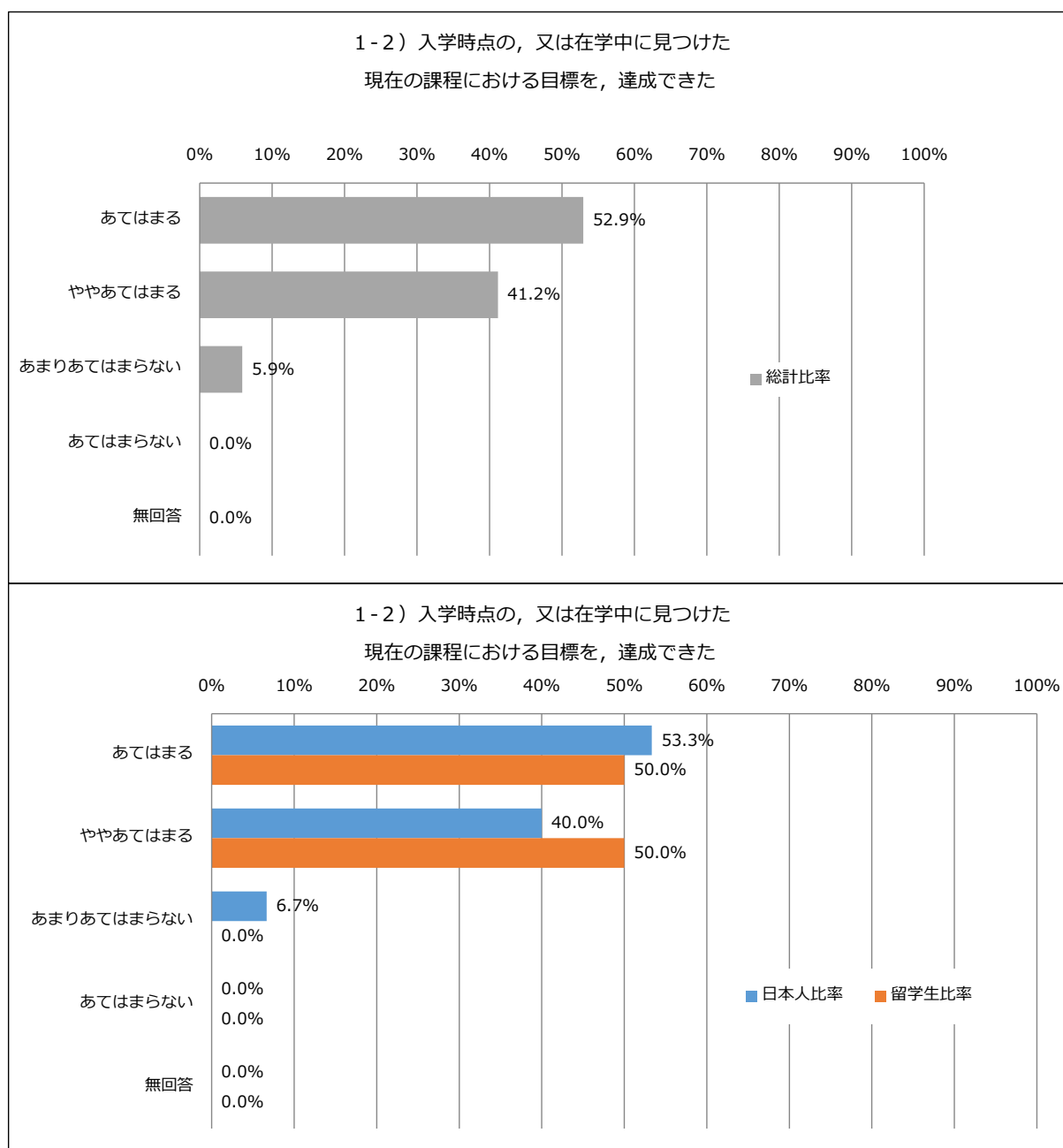
問 1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

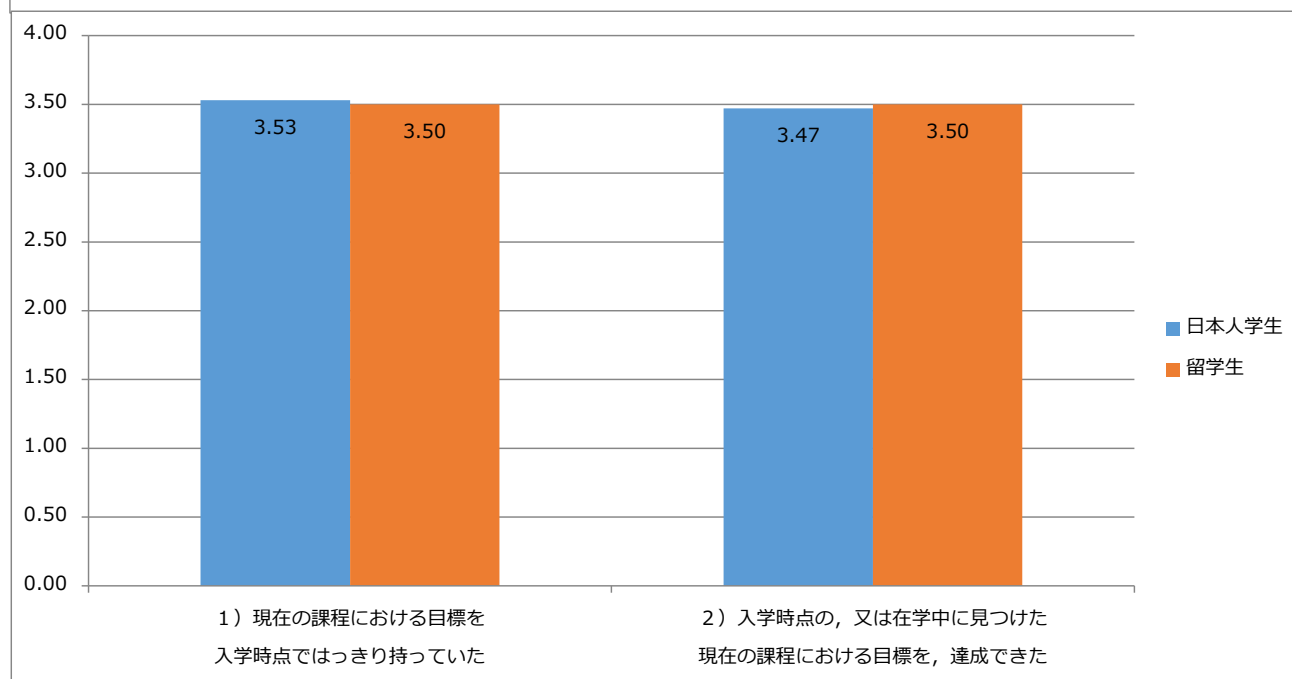
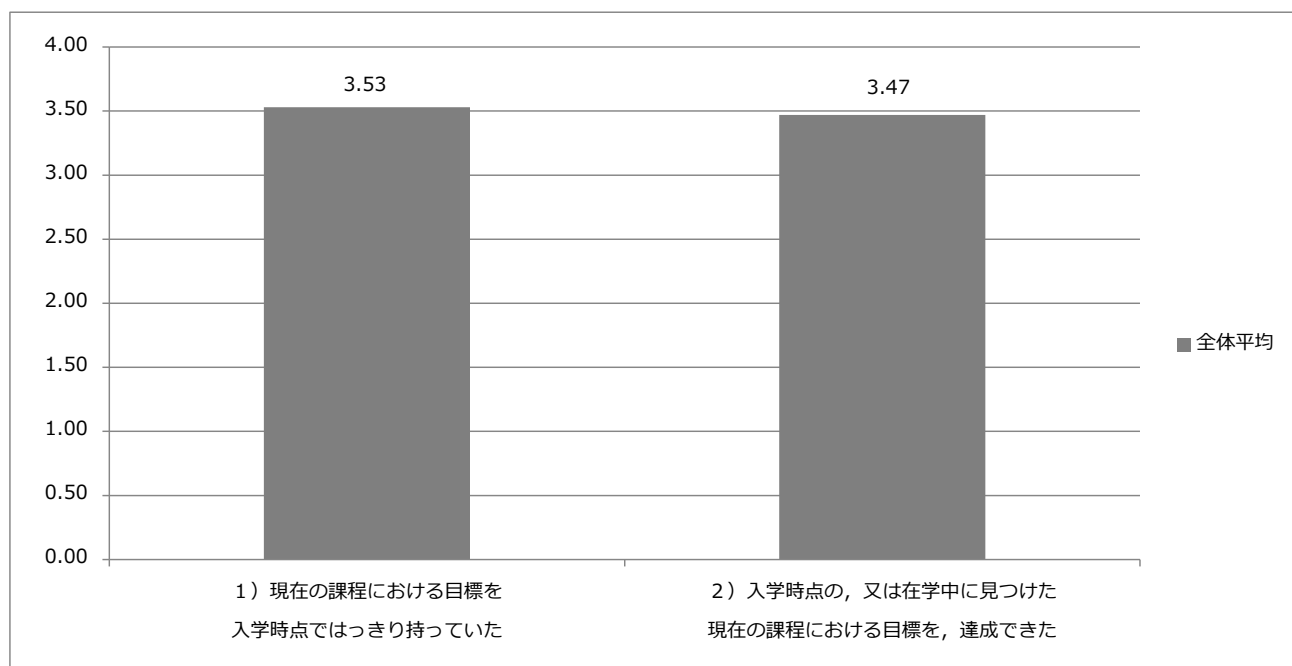
2) 入学時点の, 又は在学中に見つけた現在の課程における目標を, 達成できた



問1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.53	3.53	3.50
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.47	3.47	3.50

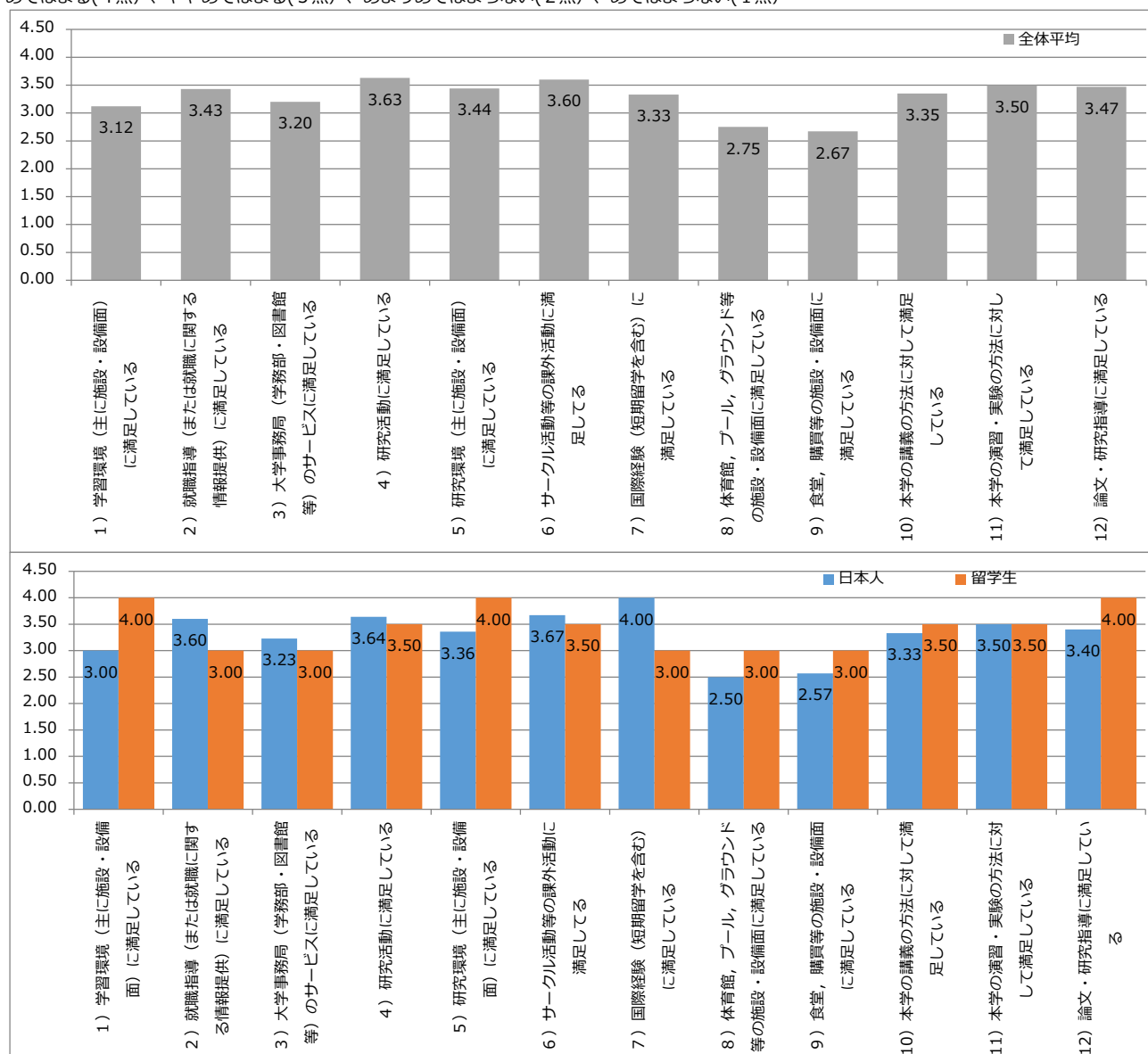
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.12	3.00	4.00
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.43	3.60	3.00
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.20	3.23	3.00
4) 研究活動に満足している	3.63	3.64	3.50
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.44	3.36	4.00
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.60	3.67	3.50
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	3.33	4.00	3.00
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	2.75	2.50	3.00
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.67	2.57	3.00
10) 本学の講義の方法に対して満足している	3.35	3.33	3.50
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.50	3.50	3.50
12) 論文・研究指導に満足している	3.47	3.40	4.00

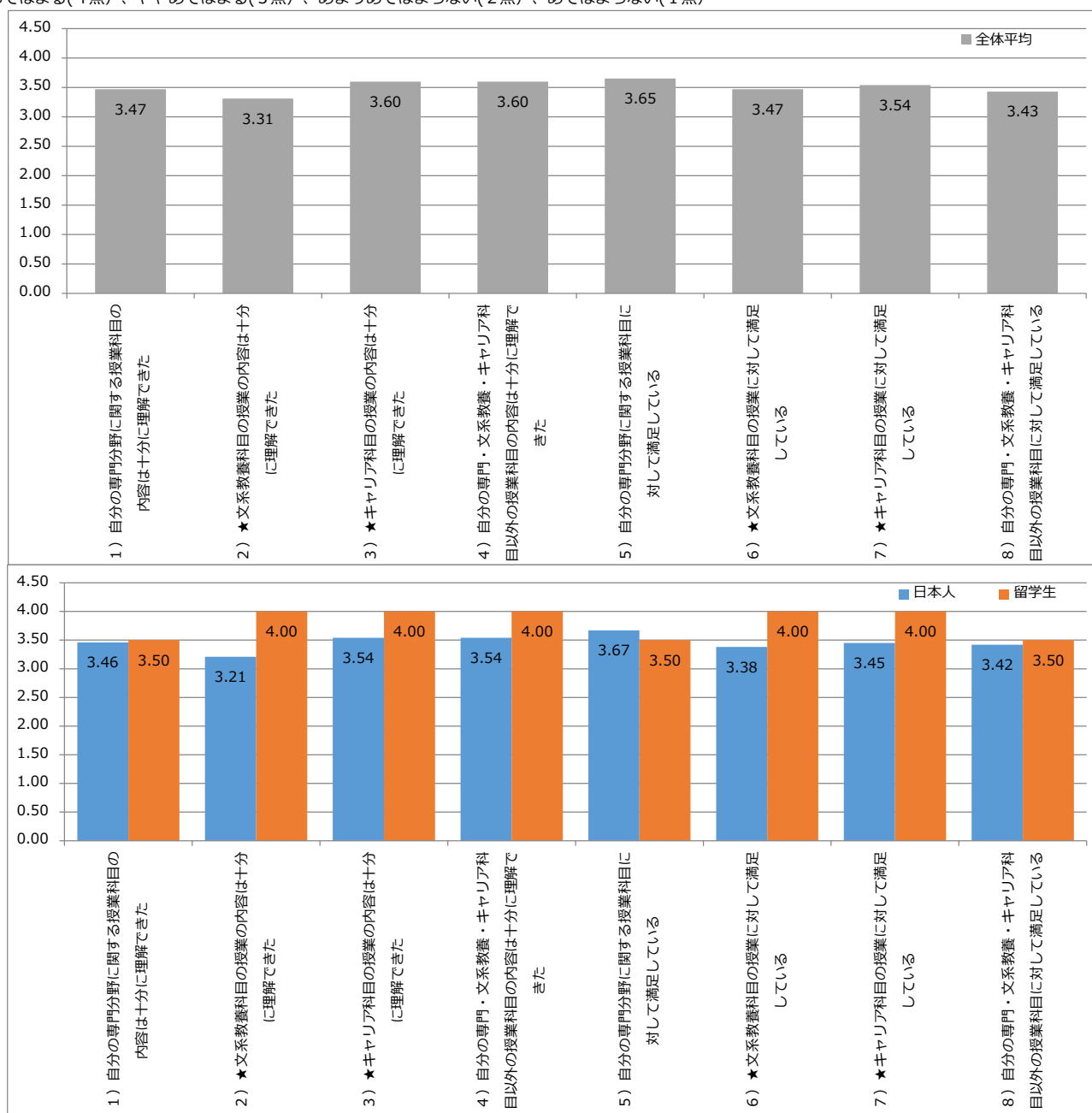
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には9以外を選択してください

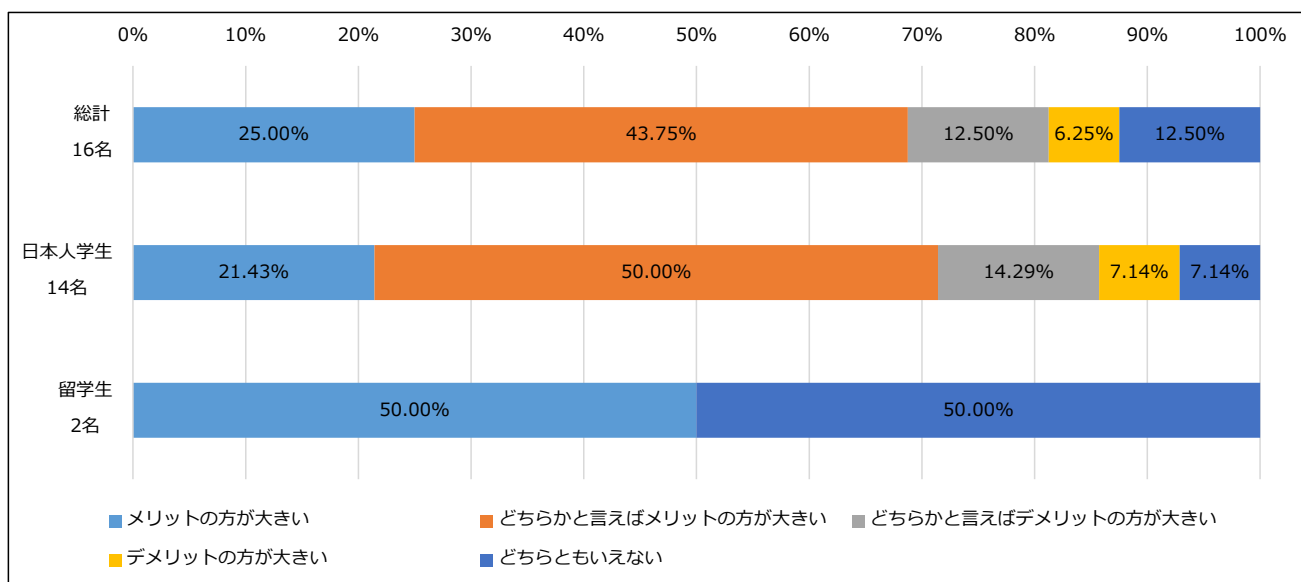
設問	全体平均	日本人	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.47	3.46	3.50
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.31	3.21	4.00
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.60	3.54	4.00
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.60	3.54	4.00
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.65	3.67	3.50
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	3.47	3.38	4.00
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	3.54	3.45	4.00
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.43	3.42	3.50

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

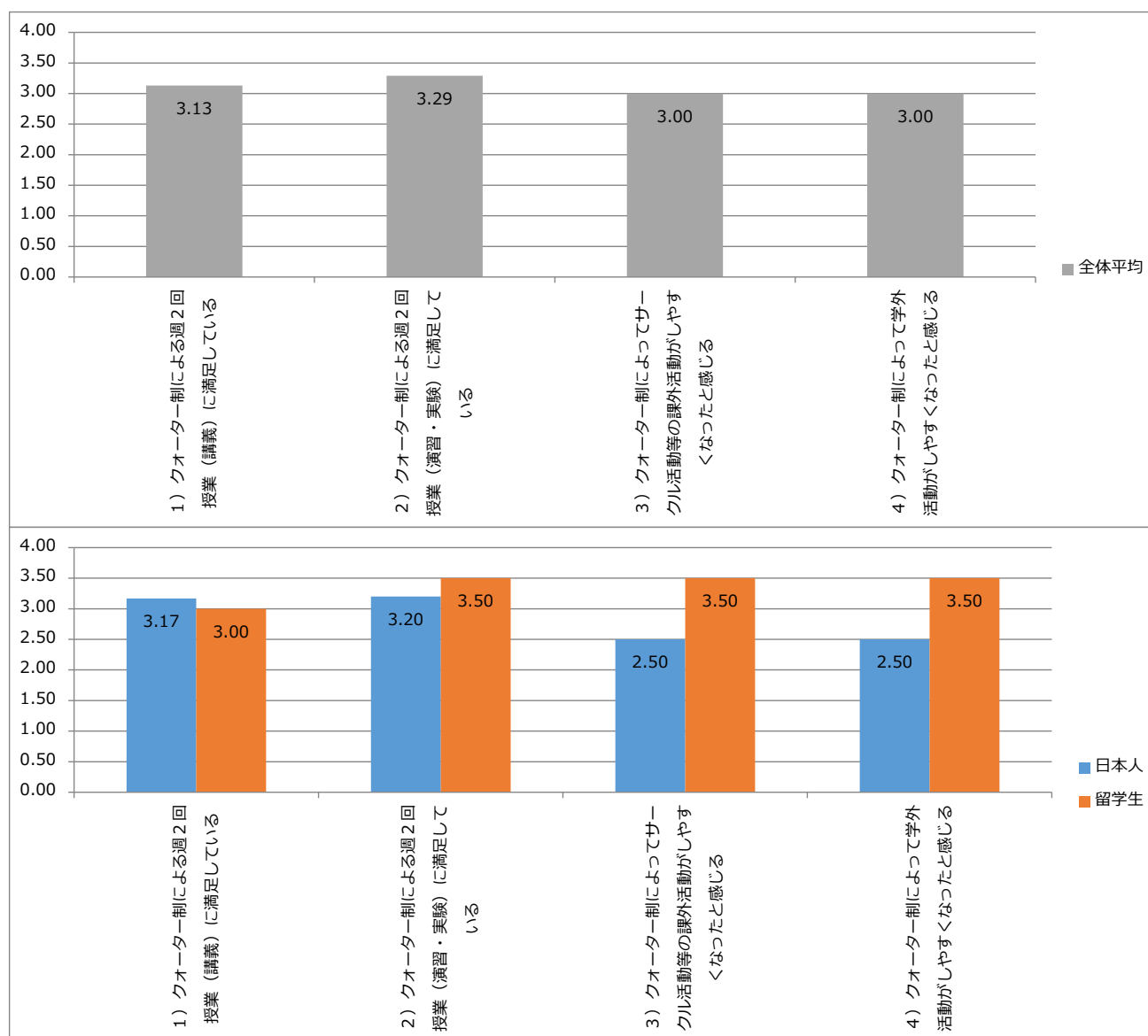
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
メリットの方が大きい	4名	25.00%	3名	21.43%	1名	50.00%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	7名	43.75%	7名	50.00%	0名	0.00%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	2名	12.50%	2名	14.29%	0名	0.00%
デメリットの方が大きい	1名	6.25%	1名	7.14%	0名	0.00%
どちらともいえない	2名	12.50%	1名	7.14%	1名	50.00%
回答者計	16名	100.00%	14名	100.00%	2名	100.00%
無回答	1名		1名		0名	



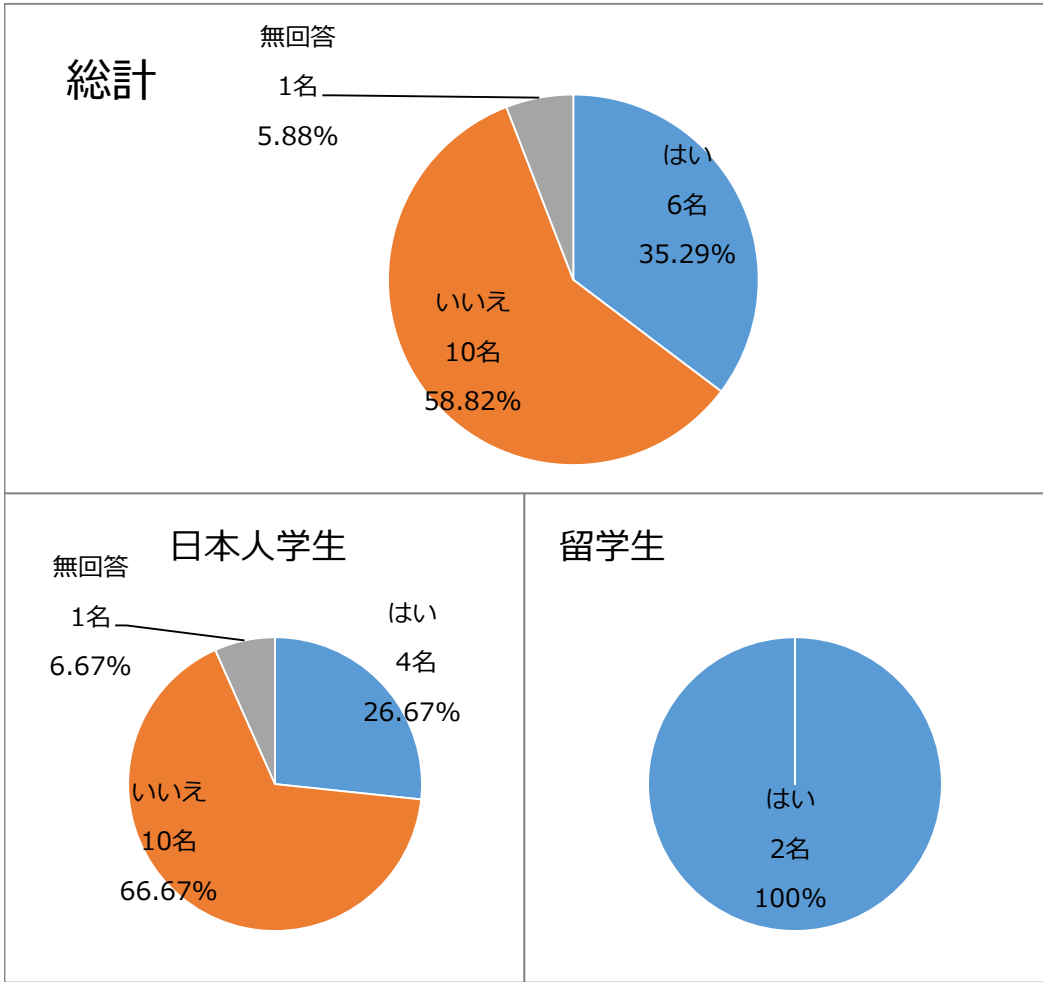
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.13	3.17	3.00
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.29	3.20	3.50
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	3.00	2.50	3.50
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	3.00	2.50	3.50

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

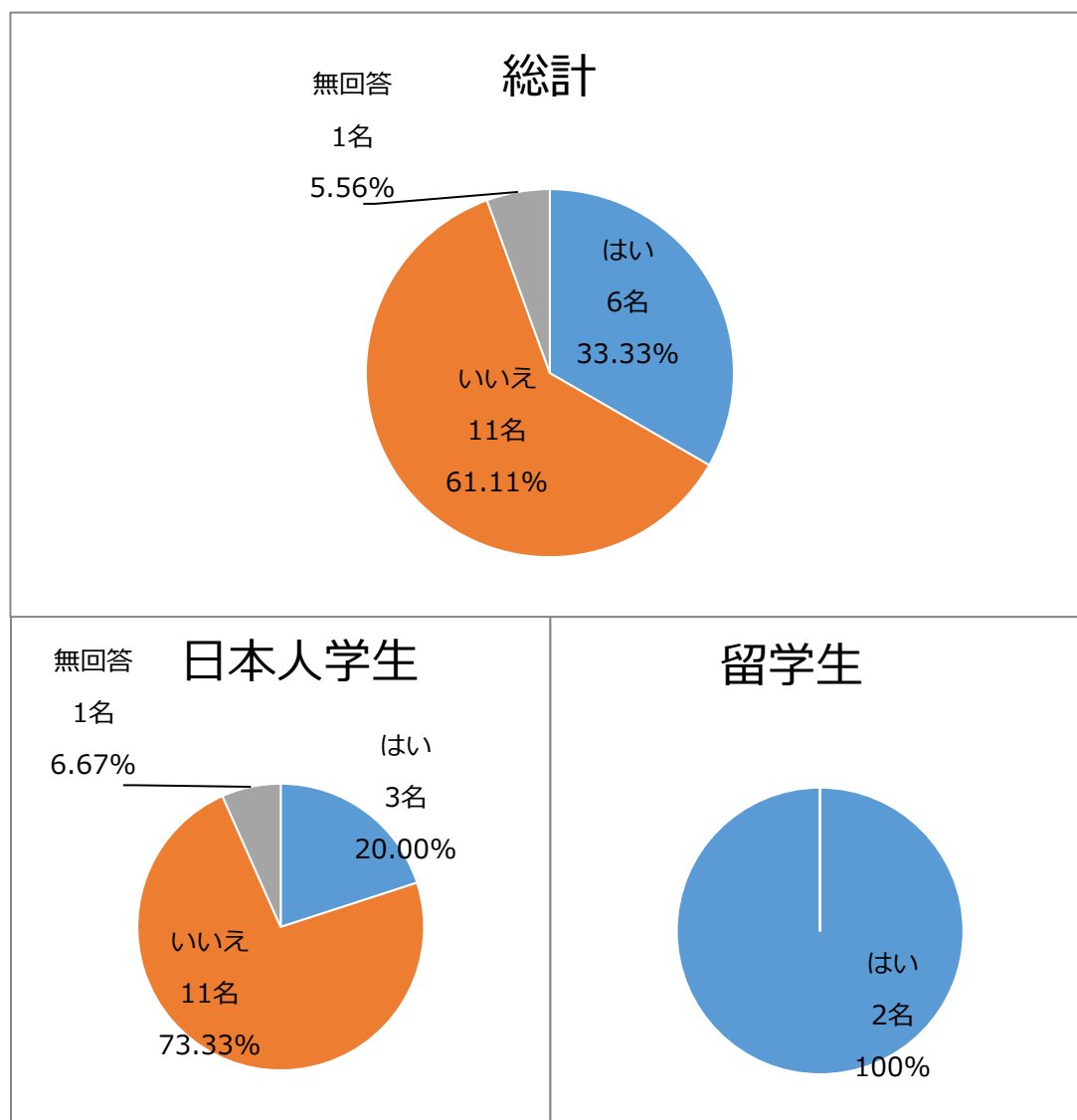


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

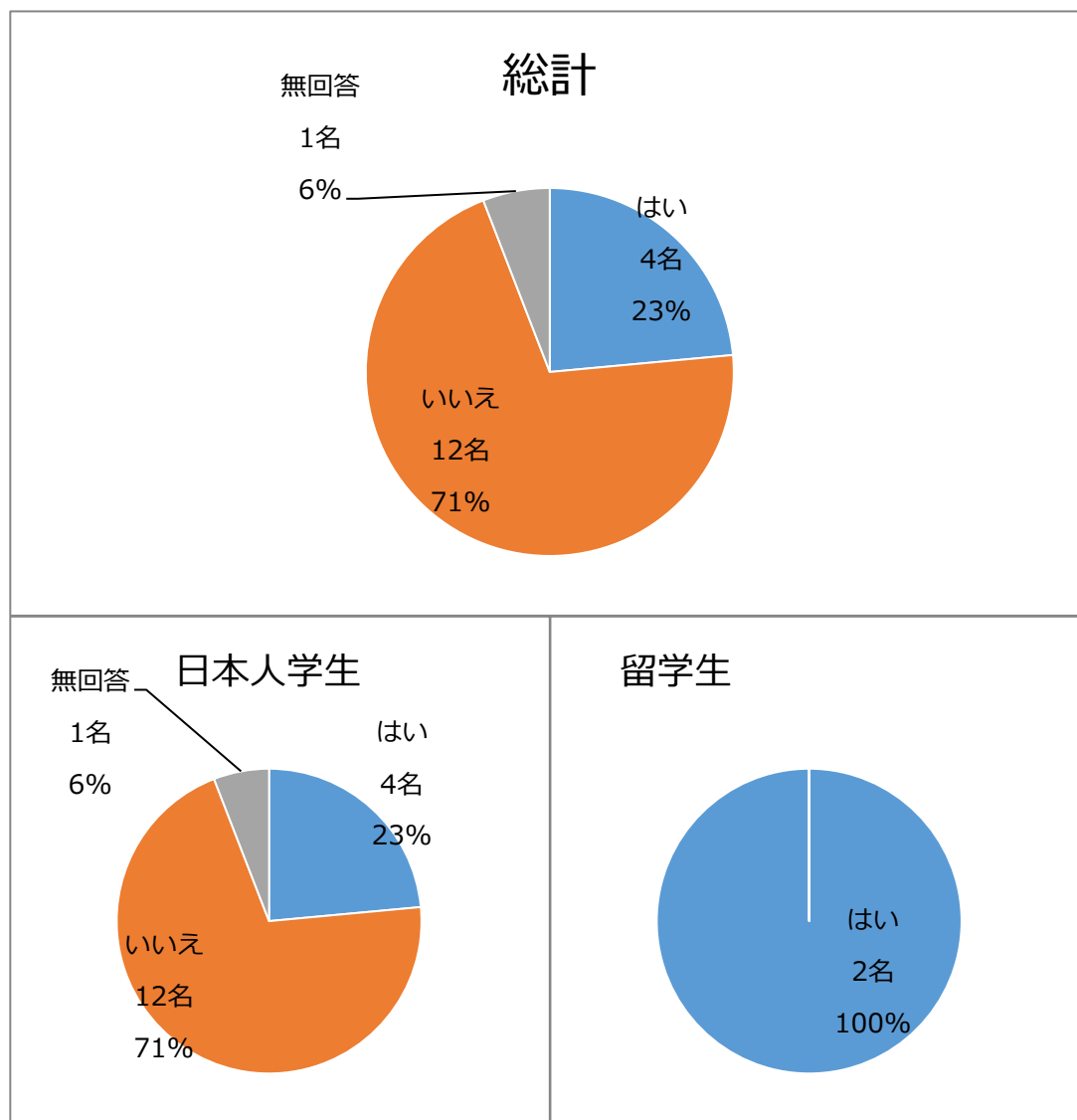


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問 6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等を経済社会システムにおいて応用できるようになった	3.63	3.57	4.00
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.69	3.64	4.00
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.47	3.38	4.00
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.64	3.58	4.00
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.71	3.67	4.00
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.33	3.23	4.00
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.36	3.25	4.00
8) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.44	3.36	4.00
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.64	3.58	4.00
10) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	3.63	3.64	3.50
11) 科学技術と産業に関するイノベーションの創出やビジョンの策定ができるようになった	3.40	3.31	4.00
12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.47	3.38	4.00
13) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.47	3.38	4.00
14) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.25	3.14	4.00
15) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.50	3.43	4.00
16) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	2.43	2.33	3.00

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

